

市内保育所・園、幼稚園、小中学校の保護者の皆様 地域の皆様へ

教育センターだより【14号】

令和2年1月10日発行



518-0485

三重県名張市百合が丘西5番町25番地

適応指導教室（さくら教室）2F

Tel 0595-63-7830 Fax 0696-63-7830

事務室・教育よろず相談 1F

Tel 0595-64-8801 Fax 0595-64-8802

E-mail:sakura@nabari-mie.ed.jp

E-mail:kyouiku-ce@city.nabari.mie.jp

minakuru01@nabari-mie.ed.jp

学校ボランティア室 1F

Tel 0595-64-8864 Fax 0595-64-8802

ホームページ <http://www.nabari-mie.ed.jp/minakuru/>

名張市学校・園美術展覧会

令和元年11月29日(金)～12月2日(月)



丁寧さ、根気強さ、創意工夫にあふれた作品がいっぱい！

4日間にわたり、名張小学校を会場にして、令和元年度名張市学校・園美術展覧会が行われました。今年度の出品数は、幼・小・中あわせて、図画432点、工作・工芸275点、書写367点の合計1074点が出品されました。また、4日間で合計4063名（昨年より約200名増）の方にご来場いただきました。

ご来場いただいた多くの方が係員に話しかけてくださり、「子どもたちの発想はすごいですね。」「みんなとても丁寧に上手ですね。」「子どもたちがこんなにできるとは、本当に驚きました。」などと、感心されるご感想を伝えてくれました。また、アンケートにご記入いただいた中にも同様の回答が多数見られました。こういったご感想を各学校・園に還元することで、今後も子どもたちの努力や工夫、そして追求への励みにさせていただけると思います。展示見学の様子だけでなく、駐車場やトイレ、スリッパの利用等、皆様にマナーを守っていただけたおかげで、本当に気持ちよく展覧会を運営させていただくことができました。本当にありがとうございました。

低学年の人は、自分なりの発想で、のびのびと図画や工作ができています。高学年の人は、さらに新しい題材や方法に挑戦できています。中学生は立体感や構図、色彩がさすがですね。これからも楽しい気持ちで取り組んでいきましょう。



小学校はみんな元気よくのびのびと書けていますね。学年が進むにつれて筆の使い方や字の整え方などもしっかりできています。中学校は、お手本に忠実で、基本もしっかりおさえて書けています。名前も丁寧に書けています。

教育フォーラム in なばり 2019

令和元年12月7日(土)

昨年12月7日(土)に開催された「教育フォーラム in なばり 2019」では、654名の方が教育センターへご来場くださいました。名張市教育ビジョンの進捗状況報告や、教育実践発表とともに、「中学生のメッセージ2019」、「伝えよう！人とのつながり」メッセージの表彰式や桔梗が丘中学校音楽部による演奏など、子どもたちの活躍やそれを讃える場面も多く見られました。教育センターからは、「工作教室 水引細工」と「ふるさと学習『なばり学』」のブースを設置し、展示や体験学習の場を設けました。また、今年度は、その「なばり学」について、名張市教育委員会・名張郷土研究会による講演会も行わせていただきました。このたよりでは、センター事業に関する展示・体験と、講演会の概要について報告いたします。



日本のお正月の伝統である「祝い菓子」の袋に飾るものであるということを知り、あわじ結びの方法について学びました。

工作教室
水引き細工

伝えよう私たちのまち名張
～お宝発見！ふるさと学習「なばり学」
名張市教育委員会・名張郷土研究会



1階廊下には、各小学校がまとめた「なばり学」の新聞やレポートを多数展示。

「なばり学」の実施風景の紹介とともに、地域と結びつくことが更に意識を高め、良い授業となることを話されました。

体験・展示
コーナー

手裏剣の体験も実施





週末教育事業



物を作るだけでなく、素材の特徴や安全に関することも覚えていこう！

水引細工で飾るお正月の箸袋づくり



11月30日(土)は、まず水引細工を作る練習をしました。その後、水引細工であわじ結びを作って箸置き(箸袋)の形にし、紙に貼り付けることで箸袋を完成しました。特に、3本まとめて淡路結びを作る場面では苦心している人もいました。最後には、エシカル商品についての勉強もしました。

楽しく学べる電波教室

11月9日(土)は、電波教室として緊急時や災害時などに使えるAM/FMラジオ製作を行いました。生まれて初めてはんだごてを使ってはんだ付けをする様子は、みんなとても慎重で、達成感も大きかったようです。また、保護者の方にも参加していただき、電波利用の適正な方法(違法電波をなくすなどの知識)についてもお話ししました。



質問！



エシカル商品って何ですか？

自然環境に良い商品、助けを必要とする人を支援する商品など、買い物することで社会全体を応援するような商品のことです。具体的には、リサイクル素材を使った物や省エネ製品、地元・被災地・福祉施設などで生産されている商品、開発途上国への寄付付き(フェアトレード)商品などです。そういった商品を選んで購入することをエシカル消費と言われます。その他にも、店でもらう袋でなくマイバッグを持参したり、食品などを無駄の無いように必要な分だけ買うように心がけたりすることもこれにあたります。現状をふり返り、できることから始めてみてはいかがでしょうか。

段ボールで秘密基地を作ろう

12月21日(土)は、自分たちが住むまちづくりの入門として、家を建てるにはどのような形や強度が理想的かということを考えました。4人ずつ3チームに分かれ、近畿大学工業高等専門学校(近大)の都市環境コースの学生さんも加わってくれました。事前に考えてきたデザインを持ち寄り、講習も聞いた後、チームで相談しながら設計図を作って、それぞれ工夫した家を作りました。



今年度の週末教育事業予定

1月25日(土)

2月1日(土)

2月22日(土)

3月14日(土)

内容は、お楽しみに。



ボランティア室より 地域と学校の協働活動でより豊かな教育を！

現在、市内小中学校で日々子どもたちのために活動いただいている学校生活支援ボランティアさんの数は、12月末で876名です。そして、地域とともに学校づくりをめざすコミュニティ・スクールが始まってきていて、さらに多くの方が学校支援に関わってくださっています。そんな中で、私たち学校ボランティア室としての果たさなければならない役割が増えています。特に求められているのが、「地域と学校の協働活動」の実現。地域の方々と学校教職員が力を合わせ、子どもたちのために、地域に根ざし将来を見据えたより豊かな教育活動をめざして、一緒に取り組んでいきましょう。

苦手なことに対するいろいろなでてをを考え、学校生活に活かすことができました。

ぱりっ子

チャレンジ教室

来年度も前期は6月、後期は9月から始まります。どうぞご参加ください。



図書館ボランティア 第3回 最終 こども読書活動推進研修講座



11月28日(木)は、こども読書推進活動研修講座の第3回が行われました。今年度最終となる機会でもあり、実践会として参加した方が語り手・読み手・聞き手となり、それぞれの役割を担う中で、新しい発見や読み聞かせにおける大切な点を学ぶことができました。また、講師先生から細かなアドバイスをいただき、実践にすぐ役立つ有意義な講座となりました。

家庭教育・子育て支援

今年度の家庭教育講座(全5回)と子育て支援研修講座(全3回)は全て終了となりました。多数のご参加と、参加者の皆様の熱心な姿勢と温かい交流により、どの回も本当に充実した講座となりました。ありがとうございました。



教育センターで行われているこれらの講座に参加するのが難しい方もおられると思いますが、他にも出前での講座や名張市民センターでの子育て教室なども実施しておりますので、今後もぜひご利用いただきたいと思います。